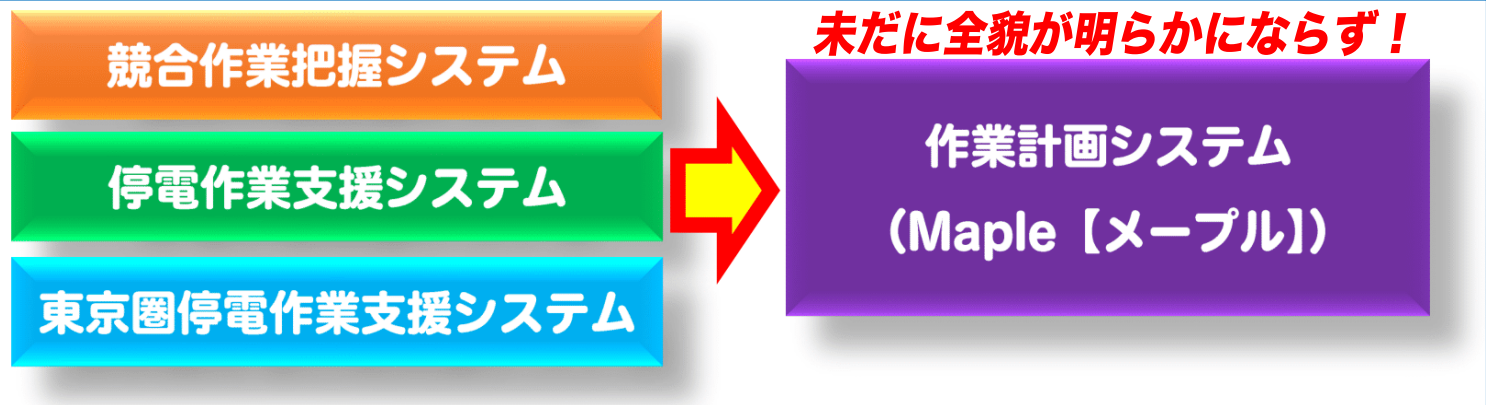


申
22
号

作業計画システムの運用に関する 緊急申し入れ

5月上旬に予定されていた「作業計画システム(Maple)」は、現在不具合により施行が延期され、4月18日から試行運用となっています。

しかし、運用してみると重大な問題が山積していることが明らかに！



新しいシステムのはずなのに…
システムでのチェック機能がなくなり、
人によるチェックに変更！

このような安全を低下させ、いのちを脅かす
退化させたシステムは大問題だ！

申し入れ項目

1. 作業計画システムの試行運用で明らかになった問題と課題を明らかにすること。
2. 作業計画システムで計画する停電及び作業に対する責任の所在を明確にすること。
3. 停電支援システムで担保していた「安全」に関する機能を作業計画システムでも踏襲できるようにシステム改修を行うこと。
4. 水戸電力技術センターおよび電力指令の停電計画業務に関する要員体制を明確にするとともに体制を強化すること
5. システム不具合によって重大な安全問題が発生した場合は、停電支援システムに戻せるようにリスク管理を行うこと。

安全に万全を期した体制の構築を労使の議論から実現しよう！